

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	認知症施策の推進と予防
区分	自立支援・介護予防・重度化防止

現状と課題

- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果より
 - ・「認知症リスク」48.6%
 - ・「物忘れが多いと感じる」48.6%
 - ・認知症に関する相談窓口を「知らない」59.2%
- 在宅介護実態調査結果より
 - ・介護者が不安に感じる介護で「認知症への対応」34.5%
- 要介護認定者の原因疾患より
 - ・「認知症」が1位

第9期における具体的な取組

【認知症施策の推進と予防】

①認知症に対する正しい理解の促進

認知症について正しく理解し、地域で認知症の人や家族を温かく見守り手助けをする「認知症サポーター」を養成する。

町広報、ケーブルテレビ、認知症に関するイベント等で普及啓発を行う。

目標（事業内容、指標等）

事業内容・指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症サポーター養成講座	開催回数	8	8	8
認知症サポーター	養成数	300	300	300
認知症サポーター	累計	3,870	4,170	4,470

- ・町広報、ケーブルテレビ、認知症に関するイベント等で普及啓発を行う。

目標の評価方法

- 時点・・・実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・開催回数及びサポーター累計数等が目標値に到達できたか。
 - ・次期計画策定時のアンケート調査における関連項目（基本チェックリスト・生きがい・地域活動・介護者の状況など）によるアウトカム評価

年度	令和6年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容

自己評価結果

課題と対応策

実績評価

実施内容

事業内容		R6 度実績値	達成率
認知症サポーター養成講座	開催回数	7	87.5%
認知症サポーター	養成数	231	77.0%
認知症サポーター	累計	3,800	98.2%

自己評価結果 【○】

目標は概ね達成できた

課題と対応策

- 認知症サポーター養成講座
認知症サポーター養成者累計数は伸びているが、一般向けの講座開催数は減少しているため、地域の各種団体等に働きかけ、広く周知し取り組みを継続する。
- 認知症に関する普及啓発
令和6年度は認知症に関する映画上映会を在宅医療介護連携事業と協働開催し、約200名の参加があり関心の高さを感じた。
令和6年3月に「中能登版チームオレンジ」を発足、今後は当事者の声を発信するなど、より認知症を身近なこととして捉え考えられるよう普及啓発に努めていく。

※「◎達成できた ○概ね達成できた △達成はやや不十分 ×全く達成できなかった」